



ボランティアセンターだより

青少年サマーボランティアスクール

ボランティアアつてすばらしい

十五才から二十才の若者を対象にした講座が社協の主催で七月三十一日から五回、夏休み中に開かれ三十数人の参加がありました。



ボランティアグループ「みちるべ」の指導で初めての車イス体験



第一回は、自己紹介、参加の動機について聞き、各々親近感がわいたところで、大阪ボランティア協会の名賀先生の

「ボランティアって何」というテーマのお話を聞き、一緒に考え意見の交換をしました。第二回は、当講座の企画進行役をつとめているグループ「つぼみ」の各人のボランティアへの考え、夢、体験の発表、模索している様子がかえりました。そして、車イス、アイマスクの体験、そして老人ホーム、老人デイサービスセンター、障害者の授産所、在宅援助等の見学、実習が実施されさまざまな体験報告がなされました。

ボランティアセンターが新しくなりました

六月十四日ボランティアルームが、市社会福祉協議会事務室の隣りの小さい部屋から、隣接する建物校塚会館の二階に移転しました。この校塚会館の一階入口、向かって左側の網入ガラスの面に白いプラスチック板には、大きな色文字で書か

世間一般の大多数の学生が受験勉強、クラブ活動に血眼になっている現状で、ボランティアという共通の目的をもった、明るいすがすがしい若者と出逢い、その姿を見るかぎり未来に望みがもって大変うれしく、我々ももっと努力し、お互いの交流を大切にしたいと思いました。

「チヨもボランティアです。」「五才の娘はバックにノート・色えんぴつ・お菓子・水筒を詰め、私について来る。今日はステッキ(保健所でのボランティアによる痴呆性老人のデイサービス)の活動日だ。何が楽しいのかは知らないが、お友達と遊ぶより、一緒に来たらしい。お菓子を食べて、お絵かきしたり折り紙したり。退屈すると私の邪魔をする。これは私の大きな誤算だった。子育中でもボランティアはできる。いや、子供がいるからこそ、もっと社会に目を向けなければと思って始めたボランティア。幼稚園の保育時間中に活動するはずだった。それなのに子連れボランティア。役に立たないと言

より、何をしているのかわからない。けれども、お年寄りや娘を見て話しかけて下さる時、これが自然なのかもしれないと思う。家では介護されるだけのお年寄りも、子供から見れば優しいおばあちゃんだ。人生の終仕上げの時期を老人と家族が、どのように過ごすか。現状の在宅介護が家族の絆を深めるものとは思えない。老人と家族が生きがいを持つ関係では、老人の可能性を引き出し、最後まで、社会の一員として生き、それゆえに社会が老人を支える。そのためにボランティアとして、これからもかわっていききたい。 神原智子

きめの細かいご近所福祉を

南塚校塚ボランティア部会(会長 三宅川正氏)より小地域ボランティア南塚部会が生まれ、平成五年一月十八日結成総会が開かれました。急速な高齢化、核家族化に伴い地域住民同士の援け合いこそ福祉の町づくりである。ボランティアを募集しました。部会設立の根本の動機です。

ボランティア相談員(コーディネーター)が民生委員、婦人会の役員より八名で構成され、地域福祉、在宅福祉の一層の充実のためにボランティアの研修をしまし

子供を産み育てながら家の中で出来る仕事を始めて気がつくと、十年余という年月が過ぎていました。今自分の時間が多少とも作れる状況になり改めて自分を見つめる機会も増え、「これからの私の人生は？」と思いを巡らしてみても、まるで見当がつかない状態なのです。この十年は、という

これはこれでも充実していたのでしようが何もかもが家族・子供中心に時間を費やし限られた空間の中で生活してきたようです。今となれば、もつと沢山の人達と出合えるチャンスもあったのに積極的に行動することを少なく惜しいことをしたと残念に思います。人との関わりは傷つき傷つ

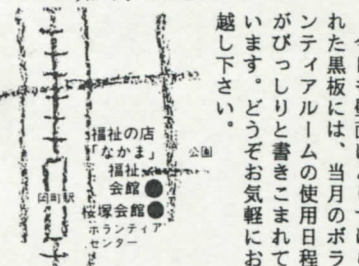
声

人間として知らなければいけないことに目を覆い耳をふさいでいたのでは本当の喜びは味わえないのかもしれない。これから前向きに生きていくためにも知られなければいけないことや、今始めなければいけないことが沢山あるように思えます。

(T・D)



グループリーダーが新しいボランティアセンターで



ボランティア部員 階段昇降のお手伝いをする 小地域での住民から起こった声からの取り組みであるからこそ地域のカラーに沿った温かい人の輪になるでしょう。(T・T)

在宅援助 みちしるべ

主な活動 外出介助
訪問リハビリ
話し相手
散髪ボランティア

定例会 毎月第4金曜日
午前10時～12時

代表者 三好日登臣



最も多いニーズは外出介助



電話訪問事業 聴くの会

主な活動 ひとり暮らしのお年寄りに電話で友愛訪問している。

定例会 毎月第4木曜日
午前10時～12時

代表者 永井三枝子



「もしもし」と電話訪問

手作り介護用品 小さな手

主な活動 寝たきり老人等の要望で手作りの介護用品を制作し、介護者の会を支援しています。

定例会 毎月第3木曜日
午後1時30分～3時30分

代表者 山口三恵子



家事援助 そよかぜ

主な活動 1才半検診のお手伝い
難病者の買物
障害児のリハビリ援助

定例会 毎月第一火曜日
午前10時～12時

代表者 山田久美子



一歳半児の検診のお手伝い

ビデオ撮影 ズームイン

主な活動 映像による福祉活動の啓発を行う

定例会 毎月第3土曜日
午前10時～12時

代表者 河田 博

ますます広がる豊中市社協

登録ボランティア

市社協ボランティアセンターでは、現在9つのボランティアグループが様々な分野で活動しています。

☎06 848-1000

青少年グループ つぼみ

主な活動 イベントのお手伝い
夏休み・春休みの実習

定例会 毎月第3土曜日
午後2時～3時30分

代表者 橋本麻衣子



老人介護グループ ステッキ

主な活動 痴呆性老人にボランティアによるミニデイサービスの実施などを行っています。

定例会 毎月第3水曜日
午後1時30分～3時30分



体操や風船バレーもします

豊中いきいき歌体操グループ さわやか

主な活動 歌体操を通じてたきり老人や障害者の健康増進を図り、各体操を指導します。

定例会 毎月 第2火曜日
第3水曜日
午前10時～12時

代表者 高橋 達雄



歌にあわせて体操をします

運転グループ 豊中アッシー

主な活動 リフト付き自動車による送迎ボランティア
寝たきり老人や障害者の方々の通院などの援助をしています。

定例会 毎月第3土曜日
午前10時～12時

代表者 山吹 壽



リフト付きなので車イスのままでも安心

大阪ボランティア フェスティバル
日時 十月三十一日(日)
午後十一時から
場所 万博公園
内容 ステージ発表
ボランティアショップ
市社協十周年記念大会
日時 十一月十三日(土)
午後一時から
場所 市民会館
内容 式典
講演・表彰
牟田徳三氏

北摂ふれあい広場
日時 十月二十四日(日)
午後一時から
場所 豊能町立ユーベル
内容 記念講演
ホール
安西愛子さん

去る七月二十六日原田 人福祉センターを訪問しました。随意ごらん下さいと受付の方、四月二十七日オープンした建物(四階建)はホテルなみで、六十才に満たない私も利用したいと思いました。

ボランティアの受け入れについては比較的元気な方々が各自で通ってこられるのでほとんど必要ないとのことでした。尚障害者の方々が二、三人勤務している施設について、主に三階で演奏室というよりロビーという感じで、そこには新聞、図書、テレビ、ミニ玉突台、卓球台、輪投げ、将棋、私の唯一の趣味である囲碁が十六面ありいちばんの人気で二十人ぐらいの方が和気あいあいと楽しんでいると聞きました。他に多目的

ホール、茶室、趣味教室等集会所では当日一歩こう会の総会が開催されており百十人ものかたが出席、やがて総会が終わり三階ロビーはいっきに盛り上がりました。四階には陶芸教室、盆栽室、シルバニア材センター軽作業室、屋外には立派なゲートボール場がありたいへん素晴らしい老人福祉センターでした。二階には「喫茶」もあり、入浴もでき終日ゆっくり過ごせる場所です。豊中市に住んで居られる六十才以上のかたどうぞご利用されふれあいのある充実した人生を送っていただきたい、市内には当センター以外に柴原、庄内、千里の三センターがあります皆さんご自由にご利用できますから。(O.S.)

歴史に残る政治改革が騒がれています。福祉についても二十一世紀にむけて政策を論じ合い、国民一人ひとりが心豊かな幸せを感じられる社会になるような政治を、そしてボランティア活動も、広く理解され、多くの人が参加され、自然体で行動できるよう願うものです。

皆様の御意見をもとに今後とも編集していきますのでどうぞよろしく。

(N.H.)

